

幾代会観察会（2024年3月）のまとめ

- 日 時： 3月3日（日）9:30～12:00
- ポイント： 梅の公園の梅と植物の観察
- 集合場所： 梅の公園中央口
- 集合時間： 9:30
- ルート： 梅の公園内（昼食は観察後近くで）
- 持ち物： 弁当・飲み物・ルーペ等の観察用具
- 参加者： 越前、岡、土方、林、大村の5名



◆ 梅の公園散策と植物観察

岡さんの案内のもと、まだ観梅期の梅の公園を約2時間かけゆっくり観察して回った。

ざっくり系統分け： □野梅系(原種に近く白梅多い)、 □緋梅系(髓が紅く紅梅多い)
●本年度追加品種（青梅産で吉川英治に因む品種含む）※写真はないが「新平家」も



青萼梅
がくや枝が緑で青白一重



書屋の蝶●
紅筆性の薄紅一重



萩野●
薄紅一重の底紅



五節の舞
濃紅色八重



森の関
(薄)紅一重の赤筋薄い底紅



雪灯籠
白一重の薄い底紅、離弁



鴛鴦(イツオ、別名オドリ)
紅八重、雌蕊複数で2果
→紅梅苑の商標に使用



見驚(ケキヨリ)
薄紅八重、雄蕊に旗弁



蓮久(レンジュ)
淡紅八重の強い裏紅、大輪



文珠(モンジュ)
極薄紅八重、香り強い



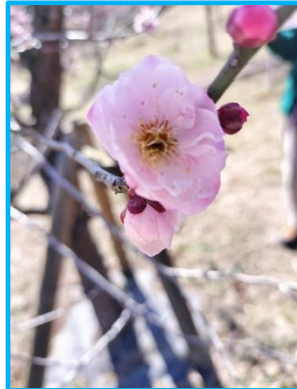
緋梅
濃紅一重、極小輪、代表種



紅千鳥
濃紅一重、雄蕊の旗弁が名に



楠玉(クスガマ)←大村推し
淡紅に濃い桃色八重



司絞り(ツカサヅリ)
紅白咲分け八重



将門誓いの梅●(常成)
白一重、「青梅」の由来木



輪違い(別名思いのまま)
紅白八重の咲分け・絞り



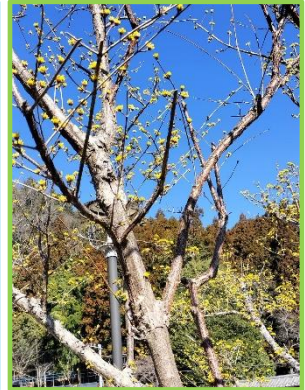
幾代寝覚←越前さん推し
紅八重の底紅、大輪豪華



東雲(シノノ)
薄紅一重の赤筋濃い底紅



都錦(ミヤジマ)
淡紅八重の咲分け



おまけ：サンシュユ
赤い実を果実酒や薬用に

※花色表現には、底紅(中心部が紅)、裏紅(花卉裏が紅)などあり

写真には含まれないが、アンズに近い遅咲き豊後系の武蔵野、揚羽の蝶、一の谷、巻立山や、花卉が(退化して)ない珍しい「てっけん」(別名茶筌梅)なども興味深く観察した。

また、樹木ではサンシュユの黄金色の花、植物ではスプリングエフェメラルのセツブンソウ(終盤)、カタクリ(蕾)、アズマイチゲ、オウメソウ/フクジュソウ(花卉の形状で熱を集めて虫を誘い、中心の温度は外気より10℃高いとか、検証できず)、ニホンズイセン(終盤)、ラップズイセン、ゲンカイツツジ(少し咲き始め)など初春の花も満喫した。

(2024.3.9 大村、写真提供越前)